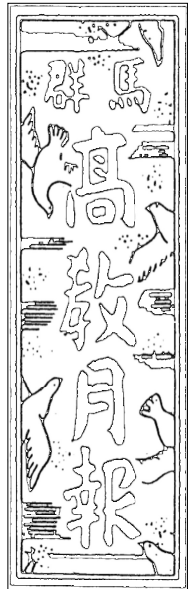


2024年第1回中央委員会

力を合わせて大幅賃上げと待遇改善を実現しよう！



前橋市大手町 3-1-10
群馬高教組
027-231-2784
ghtu@educas.jp
http://www.ghtu.org/

9月22日(日)、第1回中央委員会が教育会館中会議室で開催され、活発な議論が展開されました。すべての議案を可決し、秋季確定闘争へ向けて団結を確認した後、人勧学習会とデリバリーの懇親会と続き、若手の未組合員の参加もあり、充実した一日となりました。職場でも「教育長あて寄せ書き」と「知事宛メッセージ」に取り組みながら、仲間を増やし、仕方がないを変えられるよう、みんなで声をかけあって頑張りましょう。



組員を増やそう！

○坂田さん(清陵)

非常勤講師は様々な問題を抱えており、仕方がなくて動いてきた。国人勧で非正規に触れていないのは問題で、県人勧では会計年度任用職員について取り上げられ、交渉で成果をあげられるようにしたい。不条理なのは非常勤だけではなく、常勤の問題の裏返しとも言える。裏と表、全体の問題ととらえるべきで、人員構成はこれでもいいのか？フィンランドの脱ICTをどう考えるのか？常勤の先生方に問題提起したい。清陵と玉村で一緒に働く若手の非常勤(苦労人)のグチを聞くようにしているが、学習会と懇親会に誘ったら来てくれると言ってくれた。つながることが大事だ。

○萩原書記長

中央委員会の出欠や委任状催促の連絡を通してつながれる職場もある。青年は部活の壁に阻まれる上、毎日必要以上にがんばり過ぎて休日はバツテリ一切れになってしまふ。ドタキャンが多いのもよく分かる。そんな青年とのつながりを構築している。どの分会でも昼

休みは組活が当たり前となるよう願いをボススターに込めて作成している。

○湯根さん(桐工)

昨年度は最初に二人入ってくれたが、今年も加入用紙を配り、「まど」などと一緒に配った。職員から相談を受けた時も、「組合に入ったら」と声がけしている。育休を取っている人が、しっかり遅れてきて早く帰れるよう、遠慮なく権利行使できるように気を配りたい。職場のことをよくわかる管理職になるには、組合に入って経験することも必要だと思っている。

○原田さん(安総)

共済カフェを2学期中



左から議長の坂田さん、湯根さん、お世話になりました

間考査中にやることになった。校長に話すと「うちが最初じゃないよね」「県には言っとくね」「立場上出ない方がいいよね」と言っていたが、なるべく多くの人に参加してほしい。空調服が着られるようになったのはよかった。工業や農業の作業着まで広がっている。事務からは「予算面で要求すれば出しやすい」と言われるが、管理課は「それも含めて予算化している」と言うだろう。農業はたくさん該当者がいるので事務の人も悩んでいる。12月中旬に伊香保で現業と実教の関プロがあるので成功させたい。

学校の諸問題

○村上さん(淡女)

非常勤の先生から「高女から話が来て迷ったが、断った」という話を聞いた。人事課は地公臨で副担任ができる人を探しているとのことで、対応が気になった。少子化統廃合で非常勤に頼りがちなので、権利は他人事ではないと感じるようになってきた。知事あてメッセージでは、公仕室や美術室などへのクローラー設置を訴えたい。部活を支える人も減っている。転換期だが、何かやれることをやりたいと思う。

○内川さん(高経附)

学校が異常に暑い。英語の先生が産休に入るが、代替が見つからなければ3年の担当がやることになりそうだ。県教委はきちんと責任とれるよう採用するべきだ。百問繚乱を使ってくれと言われても使い方を聞ける人がい



ない。非常勤の先生にはテスト作成手当が必要ではないか？



○小川さん(利実)

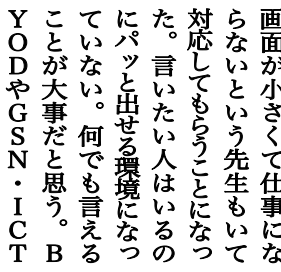
義務は廊下や体育館に冷房が入っているので高校の方が環境は悪い。稼働率だけでなく、製図室などエアコンがないと困る所は優先的に入れるべきだ。教師用パソコン入替えて返却したディスプレイを買い戻すことになったが、マウスとキーボードが必要になる。来年も大変になると思う。

○八重樫さん(渉工)



おかしいと思うことには発言するよう心掛けてきたが、朝会で「ちょっといいですか？何で言わ

ないんですか？」と他の先生から指摘されるとちょっとショックに思う。教師用パソコン入替えては、画面が小さくて仕事にならないという先生もいて対応してもらったことになった。言いたい人はいるのにパツと出せる環境になっていない。何でも言えることが大事だと思う。BYODやGSN・ICT



○山口さん(玉村)

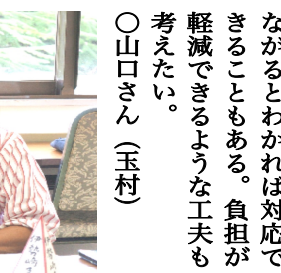
で情報管理の係は仕事が多すぎる。大きなミスにつながるかもしれない心配している。県教委に要請行動で指摘したら、ヘルプデスクから翌日連絡があり、「エラー画面をスマホで撮って送ってくれ」と言われた。高校入試のプレテストに関して県教委は説明会で「紙での採点は想定していない」と言っていた。

○神保副委員長



画面が小さくなると困るので、教務共用パソコンのディスプレイを3千円で買うことになった。

生徒がWiFiにつながらない時は、その都度係の先生に頼るのではなく、生徒がこうすればつながるとわかれば対応できることもある。負担が軽減できるような工夫も考えたい。



○山口さん(玉村)

科主任から「入試で使うので百問繚乱を定期考査でも使うように」と言われた。新しく導入したシステムで入試をやることに対し、ミスが出ないか心配だ。

○春山さん(渉女)



百問繚乱は興味があれば非常勤も使えると言わ

れたが、使い方を教わる時間に手が出ないのはどうなのか？研修時間と手当を確保してもらいたい。百問繚乱記述式の点検が二度手間という声も出ている。

萩原書記長総括

少し誘導した面もあるが、百問繚乱を巡って多くの発言があり、不安な面だけでなく理解が少し深まったと感じている。採点システムが軌道に乗る頃には従来の定期テストの作問傾向がAI採点寄りになってしまい、質の低下につながる心配だ。議案書にも記載したとおり、この中央委員会が一つのターニングポイントとなることを願っている。組合がこれまでやってきたことは間違っていたのか？もしそうでないのなら確信を持ってこれからもそれぞれの職場で組合活動にとりくんでいきましよう。



全教ニューウェーブ報告

9月14日、全教ニューウェーブに参加し、特別報告(会場4本、オンライン2本)のうちの一つを担当し、群馬高教組青年部が独自に始めたPR活動の取り組みを紹介しました。

- ・インターネットを介した毎月アンケートの実施、発信力強化のためのSNS(X, Instagram)積極利用について報告
- ・SNS積極利用という点では、北海道の全教いぶりの活動と共通
- ・分散会では、全群教の田中委員長よりリード発言
- ・アメリカのレイバーノーツに参加したことの報告から話を広げる
- ・活動をオーガナイズ(組織化)して問題を焦点化し、要求に練り上げて交渉に臨む手法を共有している
- ・組合の会議などのスリム化の必要性、SNSの有効性、声かけの重要性など話題は多岐にわたる
- ・みんなが参加したくなる組織づくり、というテーマでも盛り上がりました

感想としては、今回書記長クラスの参加者が多かったため、青年部の皆さまの前で報告したらもう少し盛り上がったかなと思いましたが、これはこれで色々な反応があり、楽しかったです

〈全群教田中委員長のリード発言を受けて〉
アメリカで今盛り上がっているレイバーノーツ大会という労働運動に参加してきたことの報告でした。レッドパーズの本場であるアメリカで労働運動が“今”盛り上がっていることの意味、希望、私たちの組合活動の目指すべき姿などについて議論がありました。その時にメッセージとして、「組合に興味がなくとも、自分のお仕事(の在り方)に関心がない人は少ない」という発言がありました。「教育環境の充実と、職場の労働環境の向上・改善」という、組合運動の原理原則について考えました。

ニューウェーブ まづくり・職場づくり 全交流集



報